Ⅱ．損益計算書関係

１．当期総損失のうち、法人移行時における固有の会計処理等に起因するものは、以下のとおりであります。

⑴　国からの承継時において、附属病院の建物、構築物等の時価評価等により、借入金見合いの資産の額が、当該借入金に係る債務負担額を下回っていたこと等によるもの

附属病院に関する借入金の元本償還額に充てた額は、1,300,210千円であります。

当該借入金により取得した資産の減価償却費は、1,250,293千円であります。

当期総損失に与える影響額（差引）は、49,916千円であります。

⑵　国立大学法人等が獲得した附属病院収益と診療機器等に係る減価償却費見合いの資産見返物品受贈額戻入が二重になっていることによるもの

法人移行時に国から承継した診療機器資産見返物品受贈額のうち、対応する資産の減価償却費が診療経費に分類されるものに関する資産見返物品受贈額戻入額は、80千円であります。

⑴⑵による、当期総損失への影響額は49,996千円であります。

Ⅲ．キャッシュ・フロー計算書関係

１．資金期末残高の貸借対照表科目別の内訳

現金及び預金勘定	2,969,832千円
定期預金等	―千円
資金期末残高	2,969,832千円

２．重要な非資金取引

⑴　ファイナンス・リースによる資産の取得

工具器具備品	111,970千円
合計	111,970千円

⑵　寄附物品の受入

建物	2,157千円
工具器具備品	72,434千円
図書	4,905千円
合計	79,497千円

Ⅳ．国立大学法人業務実施コスト計算書関係

１．引当外退職給付増加見積額のうち4,167千円は、国または地方公共団体からの出向職員に係るものであります。

（減損に係る注記）

１．減損を認識した固定資産

⑴　減損を認識した固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要

（単位：千円）

用途	種類	場所	帳簿価額（減損前）	帳簿価額（減損後）
医学部用地	土地	秋田県秋田市	4,410,000	2,170,000
本道団地女子寄宿舎用地	土地	秋田県秋田市	19,400	9,550
看護師宿舎用地	土地	秋田県秋田市	77,400	38,100
糖塚宿舎用地	土地	秋田県秋田市	295,000	145,000
乳頭ロッジ	建物	秋田県仙北市	8,072	5,583
乳頭ロッジ	建物附属設備	秋田県仙北市	323	223
乳頭ロッジ	構築物	秋田県仙北市	9,342	6,462

⑵　減損の認識に至った経緯

医学部、本道団地女子寄宿舎、看護師宿舎、糖塚宿舎（土地）については、市場価値が著しく低下したため、減損を認識しております。

乳頭ロッジ（建物、建物附属設備、構築物）については、使用しないという決定をしたため、減損を認識しております。

⑶　減損額のうち損益計算書に計上した金額と計上していない金額の主要な固定資産毎の内訳

（単位：千円）

用途	種類	損失処理額	損失外処理額
医学部用地	土地	―	2,240,000
本道団地女子寄宿舎用地	土地	―	9,850
看護師宿舎用地	土地	―	39,300
糖塚宿舎用地	土地	―	150,000
乳頭ロッジ	建物	―	2,488
乳頭ロッジ	建物附属設備	―	99
乳頭ロッジ	構築物	―	2,880

⑷　回収可能サービス価額の算定方法の概要

医学部、本道団地女子寄宿舎、看護師宿舎、糖塚宿舎

医学部、本道団地女子寄宿舎、看護師宿舎、糖塚宿舎（土地）については、正味売却価額により算定しております。正味売却価額は、不動産鑑定額をもとに算定しております。

乳頭ロッジ

乳頭ロッジ（建物、建物附属設備、構築物）については、正味売却価額により算定しております。正味売却価額は、不動産鑑定額をもとに算定しております。

２．認められた減損の兆候の概要及び減損を認識しない根拠

⑴　減損の兆候が認められた固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要

（単位：千円）

用途	種類	場所	帳簿価額（※１）
プリント基板加工機	機械装置	秋田県秋田市	933